

平成30年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
水産部門

養殖クルマエビの販路拡大に向けた取組

○氏名又は名称 益田 沙央里

○所在地 熊本県天草市

○出品財 経営（水産業）

○受賞理由

・地域の概要

天草市楠浦町は、野菜や果物などの栽培に適した農地が広がり、穏やかな八代海にも面していることで、マダイやブリ類の養殖が盛んにおこなわれており、クルマエビ養殖もこうした養殖業の一角を占める重要な産業となっている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

益田氏は、平成21年に(有)友榮水産の経営者との結婚を契機に同社の経営に携わるようになった。配合餌料や燃油価格の高騰、贈答用商材の市況悪化により、同社の事業が厳しい状況におかれる中、販売部門を担い、1年目は自ら販促用チラシの作成とポスティングを行い、幾多のピンチをチャンスに変えて乗り越えながら、5年目には売り上げを1年目の16倍にまで増加させた。平成25年には販売部門を同社から独立させ、(株)クリエーションWEB PLANNINGを設立して代表取締役役に就任し、同業5社のクルマエビ以外にも地元の約100の生産者から出された約300点の農林水産品を取り扱うに至っている。

・受賞者の特色

(1) 取組・経営の成果

益田氏は、厳しい経営状況の中、逆境に立ち向かい、平成23年3月の東日本大震災の影響によりクルマエビ養殖の餌料のアミエビの入手が困難になった際には、県内から集荷したアサリを給餌して付加価値を付けて販売するなど、販売単価の上昇や売上げの増加に繋げて(有)友榮水産の経営改善を図った。また、設立した新会社では、天草地域のクルマエビ養殖業者同士の勉強会を開催し、この生産者の繋がりを生かして同社で天草産クルマエビの通年出荷を実現させるなど、地域の生産者の収入の向上にも寄与している。

(2) 女性の活躍

設立した新会社の社是には、「豊かな自然環境と共存し安心安全の農水産物を生産、そこから地域が明るく、そして女性が生き生き笑顔であれば、いずれ旅立つ子どもたちが帰りたい場所」が天草となると謳われており、この社是を実現するため、4人の子を持つ母親の立場から、天草市の子育て中の母親支援を目的としたフリーペーパーの発行や働く母親の要望を踏まえた保育園の設立に尽力するなど、育児や女性の活躍に向けた取組も積極的に推進している。

・普及性と今後の発展方向

現在、クルマエビの海外輸出の促進、IoTの活用による養殖池・生産体制の最適化、県の水産試験場と連携した魚粉代替原料を配合した餌料による養殖試験など、様々な取組を行っている。かかる未来を見据えた積極的な取組は、天草の農林水産業にこれまでにない刺激を与えており、今後の取組の発展にも大いに期待できる。

※ 当該受賞者は、「女性の活躍」において日本農林漁業振興会会長賞を受賞